



もっと、もっと  
住みよい那珂川町を  
つくるために、  
それぞれの分野で  
活躍されている方々の  
声を集めてみました。

## 農産物直売所 Map

**1 小砂農産物直売所**  
【営業時間】9:00～18:30 ●月曜日休  
TEL. 0287-93-0563

**2 小川ゆゆう農産物直売所**  
【営業時間】10:00～17:00 ●月曜日休  
TEL. 0287-96-4811

**3 西部農産物直売所**  
【営業時間】8:00～18:30 ●毎日営業、正月休  
TEL. 0287-92-5767

**4 道の駅「ばとう」農産物直売所**  
【営業時間】8:00～18:00 ●毎日営業、正月休  
TEL. 0287-92-5711 ●夏季臨時休館(7/20～8/31)

**5 小川南農産物直売所**  
【営業時間】8:00～18:00 ●毎日営業  
TEL. 0287-96-4082

**6 久那瀬農産物直売所**  
【営業時間】6:30～18:00 ●毎日営業、正月休  
TEL. 0287-92-5061 ●夏季臨時休館(7/20～17:30営業)

**7 富山野菜直売所**  
【営業時間】(6～11月)7:00～17:00  
※12～5月は午前7:30より営業  
TEL. 0287-92-4207 ●正月休

**8 矢又農産物直売所**  
【営業時間】(3～9月)7:00～18:30  
(10～2月)8:00～17:00  
TEL. 0287-92-1073 ●毎日営業、正月休

**9 大山田農産物直売所「耕民館」**  
【営業時間】(4～10月)8:30～17:00  
※11～3月は18:30までの営業  
TEL. 0287-93-0413 ●毎日営業、正月休



### ジュニアボランティアズクラブ (略称:JVC)

中学生・高校生のボランティアクラブで、平成18年度から旧馬頭町JLCと旧小川町YVCが合併して新たに誕生しました。

主な活動は子ども会活動の支援、図書館や美術館のボランティア、社会福祉協議会や町事業への参加協力などです。これらの活動を楽しみながら、自分たちの成長の糧になりたいと思っています。

### すくすくの会・まほろば子育て応援団

毎年、栃木県教育委員会が開催する「家庭教育オピニオンリーダー研修」の修了生で構成されているグループです。家庭観・家族形態の変容、人間関係の希薄化等から子育て環境は年々悪化しています。そこで少しでもその悩みや不安を解消するための相談事業、乳幼児健診時の保育事業、講演会・親子コンサート等のイベントを企画運営したりするなど、様々な家庭教育支援に取り組んでいます。

### 美術館ボランティア

「那珂川町馬頭広重美術館」の強力なサポート役として約50名のボランティアが活動しています。展示室の監視や案内活動を通して、来館者のさまざまな要望に対応しています。また、年に数回、県内外の美術館を訪問する研修会を開催し、美術への知識と互いの交流を深めています。

### まほろば語り

平成14年1月に発足して丸5年。「地元の話や、地元のことを、地元の言葉で」を合言葉に会員17名で張り切って活動しています。活動の場所は

地元のデイサービス施設や「那珂川苑」などで定期的に開催しています。町の行事や地域の集まり、学校などへ出向いて皆さんと楽しみを共有させてもらうこともあります。これからも地元にある「話」をたくさん語り継いでいきたいです。

### 芳井夢の会・舟元気がい

町内で活躍する女性のボランティアグループです。国際交流事業「ホームステイイクエンドイン那珂川」(田植え・稲刈り)では外国人との交流や、餅つき、流しそうめん等のイベントに10年以上、主体的に携わっています。また、その他にも河川や道路の清掃等、さまざまな活動に積極的に取り組み、何よりも地域の人々との交流を大切にしています。

### 介護ボランティア ほっとなかがわ

筋力アップ・栄養改善・口腔機能の向上を目的に「介護予防教室」を開催しています。その教室で参加者の移動の介助や体力測定の補助、運動の声かけ、記録などを行なっています。明るく楽しい雰囲気づくりを心がけ、活動しています。

人から町へ。  
みんなでつくる  
那珂川町は、  
人への思いやりに満ちた  
”人がまんなかの”  
優しいまちです。



手作りの楽しさや大切さを子どもたちに伝えていきたい。

パン作り職人

佐藤 修さん (小川)



東京からUターンしてきたのを機に「パン工房ル・ベリー」を開店。「美味しいパンを安全に、安心して」がモットー。

地元産のカボチャやイチゴなどを使った商品を開発することで、美味しく安全な農作物を生産している那珂川町のPRになれば…と思っています。それから子どもやお母さんたちを対象にした「パン作り教室」を開催し、手作りの楽しさや大切さを伝えていきたいと思っています。

誰もが気軽に音楽を楽しめる、そんなまちにしていきたい。

音楽家

岡倉 ゆかりさん (小砂)



出身は北海道だが、那珂川町の自然に魅せられてこの町に移住。ピアノの弾き語りのほか、コーラスグループの指導者としても活躍。

最近、地元の主婦を中心にしたゴスペルのコーラスグループを結成したのですが、子どもも大人も、障がいを持っている人も持っていない人も、みんなで音楽を楽しめる、そんな町になったらいいですね。これからも演奏者と観客の垣根を越えて共に楽しめる音楽会をいろいろ企画していきたいです。

病気の治療だけでなく心の通った医療を提供していきたい。

医師

木村 透さん (馬頭)



「飯塚医院」院長。地域医療に携わってから20年という町のホームドクター。早期発見・早期治療のプライマリケアに尽力中。

私の場合、日常の外來診療だけでなく、予防接種や乳幼児健診、学校健診などの保健分野から高齢者の在宅医療といった福祉分野まで携わっているんです。病気の治療だけでなく、ご家族や地域の事情までを考慮した心の通った医療を提供していきたいと、いつも心がけています。

# 人から町へ 子どもたちに誇れる住みよい那珂川町をつくるために— 『人がまんなか』のまちづくり



自然との出合いを大切にしたい交流事業を企画していきたい。

レジャー施設

中村 利美さん (三輪)



サンタクロースをテーマにしたレジャー施設「サンタビルズ」を経営。特に都市部の子どもの自然とふれあう場を提供。

自然とふれあう機会の少ない現代の子どもたちのために、自然観察会(財団法人日本自然保護協会推進事業)や自然体験活動、地域子ども教室(文部科学省委託事業)などを、毎月開催しています。これからも「自然との出合い」を大切に、さまざまな交流事業を企画していきたいと思っています。

地域の人々が気軽に立ち寄れる憩いの場にしていきたい。

温泉

武隈 節子さん (小川)



小口館「下の湯」の3代目女将。観光客だけでなく、地域の人々の日帰り入浴にも利用されている温泉旅館。

宿泊是那珂川町のゴルフ場に来られたリピーターが多いのですが、うちの建物は平屋で段差が少ないからか、日帰り入浴のお年寄りたちにも「利用しやすい」と評判がいいんです。これからも地域の方たちが気軽に立ち寄れる、そんな憩いの場にしていきたいと思っています。

地産地消を推進させることで町の活性化につなげていきたい。

酒造業

白相 淑久さん (小川)



老舗の蔵元「白相酒造」の社長。酒造メーカーの立場で農業の活性化や地産地消などを推進しているまちづくりのリーダー。

町内の農家が生産した酒造好適米「美山錦」などを使用した日本酒の製造や町内産の芋や麦を使った本格焼酎を製造販売することで、農地や遊休農地の有効活用と地産地消を推進させ、ひいて是那珂川町の知名度を高めて町外からの来訪者の増大に貢献できれば…と思っています。

# nakagawawa town

# nakagawawa town

地元の農作物を使うことで町のPRにつなげていきたい。

観光地

稲沢 枝美子さん (北向田)



道の駅「はとう」の敷地内にあるアイス工房「武茂の郷」代表。つねに「お客様には笑顔で接客」がモットー。

この店には、常時20種類ものイタリアンジェラートが置いてあるんです。特に地元産のムラサキイモやユズ、クリ、イチゴなどを使ったアイスは観光客にも評判がいいんですよ。これからも、できるだけ地元の農作物を原材料にした手作りアイスを開発し、町のPRにつなげていきたいです。

誰にとっても使いやすく安全な建具を開発していきたい。

建具職人

秋元 一彦さん (小川)



「秋元建具店」の3代目。建具という日本伝統のインテリアを後世にも伝えていきたいと現在、父親の元で修業中。

住宅の洋風化が進む一方で、近年、開け閉めがしやすく、空間を個室にもオープンにもできる引き戸が見直されています。まだまだ修業の身ですが、これから経験を積んで子どもからお年寄り、障がいを持つ人にとっても使いやすく安全な建具類を開発していきたいと思っています。

アートを通じた出合いの場や交流の場を提供していきたい。

NPO法人

梶原 紀子さん (小砂)



NPO法人「もうひとつの美術館」の館長。ここは廃校となった旧小口小学校の校舎を再利用して開設された芸術文化交流施設。

障がいの有無や専門家か否か、あるいは既成のアートの枠にはまらないオルタナティブ・アートの素晴らしさを紹介するとともに、里山にあり、今では貴重となった古い木造校舎の趣を味わってもらえれば…と思っています。そしていろんな人が気軽にアートを楽しみ、ここから交流が始まれば、それがまちづくりにもつながっていくと思っています。

農業に興味を持つ子どもを一人でも多く増やしていきたい。

農業

和泉 芳江さん (小川)



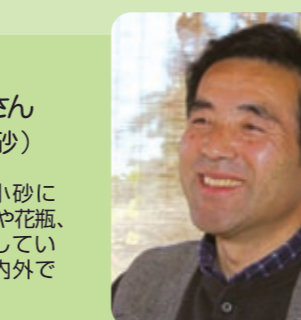
米、トマトやイチゴのハウス栽培のほか、無添加のジャムや赤飯、餅などの加工所を運営。県女性農業士。

私たち農家は、安全・安心で高品質なものを地元の人たちにも提供したい、という思いで地産地消に力を入れています。また、学校給食や農業体験などを通して地域の子どもたちに農業に興味を持ってもらい、次世代の農業を担う子が一人でも増えてくれれば、と願っています。

江戸時代から続く焼物の里として魅力ある町にしていきたい。

陶芸家

荻原 健久さん (小砂)



「朱雀窯」を主宰。小砂に窯を構え、白磁の食器や花瓶、壺などを製作・販売しているほか、年に数回県内外で個展も開催。

小砂焼は江戸時代から続く焼物です。私はこの恵まれた自然の中で作陶し、この自然を作品の中に取り入れながら、より良い作品を生み出したいと願っています。この伝統ある産業をより活力あるものにし、たくさんの方が訪れてくれる魅力ある小砂の里になってほしいし、またしていきたいと思っています。

押し花を通して思いやりの心や交流の輪を広げていきたい。

インストラクター

荒井 昌子さん (矢又)



押し花を通して心豊かな社会づくりに少しでも貢献できれば…と生涯学習活動や社会文化活動にも積極的。

野の花の押し花を通し、那珂川町の四季の美しさをより多くの人々に知ってもらいたいと思い、ボランティアで生涯学習のインストラクターなどをやらせてもらってます。野の花に目を向け、押し花教室やサークルに足を運ぶことで、思いやりの心や交流の輪が広がっていけばいいと思います。

町の誇りでもある那珂川を通したまちづくりをしていきたい。

商店主

小林 博さん (小川)



「鮎と鯉の林屋」の2代目。旧小川町観光協会の副会長を務めていた経験から、那珂川を中心としたまちづくりにも意欲的。

あまり知られていないのですが、那珂川はアユの天然溯上漁獲高が日本で、四万十川の3倍もあるんです。これは生き物にとって棲みやすい環境が残されている証拠。川は町の財産だし、いい意味で那珂川の素晴らしさを全国にPRできたら町の誇りにもなる!と考えているんです。

那珂川町のそばをPRして地域の活性化につなげていきたい。

そば打ち職人

北畠 一徳さん (松野)



「そば処 一徳」の主人。地元産のそば粉100%の挽き立て、打ち立て、ゆで立てのそばを提供しているこだわりのそば屋。

那珂川町内には「馬頭の八溝そば」と呼ばれる地元産のそば粉を使ったこだわりのそば屋が多いんです。これからも地元の人はもちろん、県内外のより多くの人々に那珂川町産の美味しいそばをたくさん食べてもらい、それが地域の活性化につながっていけば…と思っています。